



疑問や情報をHPで
みなさんからの情報や疑問
をきっかけに調査します。
QRコードからホームページ
のお問合せコーナーから「これ知
りたい」「あれに困っています」を
お寄せください。

「住民こそ主人公」



「きずな」の定期配布
「きずな」は、市政や市議会など
身近な情報を提供する地域情報紙
をめざしています。定期的な配布
(無償) 希望の方は連絡を下さい。

第954号

2021年4月18日(日)

発行 日本共産党井上かつひろ事務所

薩摩川内市樋脇町塔之原 10439

TEL 38-0237 携帯 080-3996-0237

汚染水の海洋放出に抗議します

2020年4月15日 薩摩川内市議会議員 井上勝博

福島第一原発

政府は13日、東京電力福島第一原発で発生する放射能汚染水を処理した後の高濃度トリチウム(3重水素)を含む汚染水(アルプス処理水)の海洋放出方針を閣議決定しました。これは政府と東電が海洋放出に強く反対する漁業関係者に「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」との約束に反するものであり、福島県内7割の自治体が放出に反対・慎重対応を求めている書面も無視する暴挙です。原発立地自治体の薩摩川内市議会議員のひとりとしても厳しく抗議をするものです。

決定した基本方針では、海洋放出は2年後からトリチウムを国が定めた基準以下に薄めて排出するとされていますが、福島第一原発では放射能汚染水が一日140トン増え続け、処理水は125万トンに上っています。海洋放出ではなく敷地を確保し地上保管を続けるしかありません。事故を起こせば計り知れない損害を出し、事故を起こさなくても処理できない核のゴミを排出する原発にまわりの未来を託すことはできません。川内原発20年運転延長を必ず止め、福島県民と連帯し原発のない社会をめざし、がんばります。

薩摩川内市 広がる学校の男女混合名簿

「なぜ男が先で女はいつも後なの?」「性の多様性が言われる中で男女別の名簿はあり得ない」など男女混合名簿を求める動きが起っています。薩摩川内市内で名簿を男女混合名簿にする学校が増えていますが、現状は県平均よりも遅れています。

薩摩川内市の小中学校では2019年度と比べ2020年度は男女混合名簿を採用している学校が小学校で24.6%増の59.2%、中学校は8.1%増の16.7%と増えています。ただし鹿児島県の小学校61%、中学校34%の平均よりも劣っています。福岡県は小学校100%、中学校69.6%

男女混合名簿を採用している学校では、子ども達は違和感を持つことなく受け入れているといます。3月市議会にて藤田芳昭学校教育長は「今後は男女平等と多様性を重視する観点からすべての小中学校で保護者や子ども達の目に触れる名簿は、混合名簿の活用がのぞましい」と答弁しています。(小学生児童の保護者)

男女混合名簿を使用している学校の割合

	小学校	中学校
薩摩川内市	59.2%	16.71%
鹿児島県	61%	34%
福岡県	100%	69.6%

ジェンダー平等や男女平等と言いつつもまだ混

国保税 コロナ特例減免延長へ

収入30%減(見込み可)対象

コロナ禍の影響で、国民健康保険税の納付が困難な場合に活用できる特例減免制度が4月以降も延長されます。

減免対象となる世帯は、新型コロナウイルス感染症で主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った▽新

型コロナの影響で主たる生計維持者の事業収入、不動産収入、山林収入また給与収入の減少が見込まれ、①事業収入が30%

(2面に続く)

新型コロナウイルスに関わる国保税の減免制度

主な生計維持者の前年所得額	減免の割合
300万円以下	100%
400万円以下	80%
550万円以下	60%
750万円以下	40%
1000万円以下	20%

合名簿になっていないことに愕然とした。制服も数%の人がスカートを着るのがイヤというのに大人数の人が押しつけている。制服はだんだん身体が大きくなり合わなくなった。男子はだんだん身体が大きくなり合わなくなった。女子はだんだん身体が大きくなり合わなくなった。男子はだんだん身体が大きくなり合わなくなった。女子はだんだん身体が大きくなり合わなくなった。

樋脇粗大ごみ中継施設
樋脇粗大ごみ中継施設
樋脇粗大ごみ中継施設

こちらくらしの
相談所 (No. 455)
なんでもご相談
ください。
携帯 080-
3996-0237 (井上)

のでないと危ない。市には話してあるがまだ何も返事がない」と苦情が寄せられました。その場で市に連絡。数日後には市から「2月に取り除いてはいるはず」という回答がありました。相談者に確認すると「ゴミは取り除いていない。雨が降ると雨どいから水が落ちてくる」と言います。もう一度、市に「2月に雨樋を掃除したとのことですが相談者が今つまっている」といいます。直接相談者に電話してもらえないでしょうか。」と伝えました。実は、2月に中継施設の修理工事をおこなったときに、ついでに雨どいのゴミをとってもらったというので、まだ一部のゴミはとれていなかったことが判明しました。市には「雨が降るときは濡れながら作業しているとのこと。雨季までには対応してほしい」と要望しました。

(一面から続く)

以上減少②御受け所得金額一千万円以下③所得以外の前年所得合計額が400万円以下④の要件の全て該当する世帯。事業収入の30%以上減少は「見込み額」で構いません。結果的に収入が30%以上減少しなくても、後に減免が取り消されることはありません。30%以上減少の見込み額は、合理性が担保されれば、直近1ヶ月分だけでも判断

できるとされています。また、収入減少の確認は確定申告書だけではなく、帳簿や給与明細書などでも判断できます。

昨年(20年)度は、国税の減免を行った場合に、費用は国が全額負担しました。しかし今年度は減免総額の20~80%の財政支援しかありません。薩摩川内市が、特例減免を延長するかは今のところ不明。市民が声をあげることが大事です。

陳情第1号 ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情に賛成討論

3月25日の市議会最終本会議での、井上かつひろ議員の討論の一部(要旨)を掲載します。

陳情に賛成です。地球の大気中に温室効果ガスである二酸化炭素の濃度が高まり、太陽からの放射熱が地球外に排出されにくくなつたために、大気や海洋の平均気温が年々上昇し、産業革命から平均

面が上昇し、毎年のように豪雨災害で多くの人が亡くなり、被害も甚大です。巨大な台風が発生し、台風のコースも変わってきました。温室効果ガスが原因か原因でないかの議論は科学者にまかせ、われわれは最悪の事態を考へてやるべきことをや

きずな 953号掲載の「エプロンおばさんの簡単クッキング」が乱れていたため再掲載します。お詫びし訂正します。

エプロンおばさんの簡単クッキング(520)



豚豚

- | | |
|-----------|----------------|
| 材料 | (A) 調味料 |
| 豚肉……200g | 砂糖………大3 |
| 人参……1本 | しょうゆ……大3 |
| 玉ねぎ……1個 | みりん、酒、ウスターソース、 |
| きゅうり……1本 | ケチャップ、オイスタ…各大1 |
| ピーマン……3個 | |
| りんご又はパイン缶 | 適宜 |

作りかた

①豚肉の汁気を切り片栗粉をまぶす。厚手のナベをあたため油大2を入れ肉を入れフタをする。肉がこんがり焼けたら裏返し、人参、玉葱、ピーマンを入れ、フタをして中火で熱する。蒸気が出たら(A)の調味料を入れざっくりと混ぜ、きゅうりとりんご(又はパイン)を入れ、後に片栗粉を入れてトロミが出たら出来上がり。



日本共産党県副委員長・前鹿児島県議

まつざき真琴さんを囲むつどい

日時：4月24日(土)

午後2時~3時半

会場：SSプラザ川内103号室

「コロナ対策での無為無策」「強権」「冷酷」「モラルの退廃」「憲法改悪」など危険な政治をすすめる菅政権に対し、国民の共同の流れとともにあゆむ日本共産党が対決しています。まつざき真琴さんには、世界と日本の政治、日本共産党の役割などについて話していただきます。お誘いあわせで来場ください。



主催 日本共産党薩摩川内市委員会・同後援会 お問い合わせ 井上かつひろ 080-3996-0237



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに(646)



年度末年度初めの、この3月4月は忙しかつたなあとしみじみと思ふ。その忙しさのすまじさに、お見合いが入ったからならさらだつた。若い人を引き合わせるという、この、初めてにして人生最大の経験は、家族には秘密裏に行われた。何しろよぼよぼのお年寄りやしやしやりに、電話が鳴るたびに、「今のだれから?」と貞子さんに聞かれるたびに、「うん、ふにやふにや」とごまかすのに、苦労だつた。お見合いはさる喫茶店で行われた。男性の方は一人でのこのこやってきて、女性からは母親と二人連れだつた。10時からというところで、女性は10分前に席に着き、男性は10分遅れでやってきた。その20分の差は、1時間にも2時間にも感じられた。さてさて、お見合いは無事に済んで、やれやれと思いきや、大変な失態を演じてしまった。32歳同士のということだつたが、ナント女性の方は35歳だつた。耳に損傷をきたして私の聞き間違いだつた。大慌てでお詫びのハガキを出したが、さて結果はどうなつたのだから。未だ結婚したという話は聞いていない。というところへ、女性の祖母に当たる人から、もうひと方お見合いの相談が来た。男性は東大を出てから九大の医学部に入り直した人だ。条件は、大学を出た女性がいいとのこと。この方は、「どうなつていてねえ」と電話が来るたびに、児童クラブの忙しさに追われ、探しもしないのに、「今検討中」とごまかして(高来児童クラブ支援員)